

島根県雲南市・地域運営組織等先進地視察研修を実施しました

問寒別地区で進めている「地域コミュニティ形成事業」において、いつまでも安心して住み続けられる地域づくりを進めるため、令和6年4月にNPO法人ミナといかんが「地域運営組織」として設立されました。

問寒別地区において「地域運営組織」による地域づくりの取り組みを進めるにあたり、取組実践例や組織体制などを学ぶため、地域運営の先進地とされる島根県雲南市で、小規模多機能自治を実践する地域自主組織（地域運営組織）等の現場を、地域住民、NPO法人関係者、役場職員等で視察しました。

○参加人員：14名（住民4人、NPO法人5人、社協1人、町職員4人）

○視察日程：令和7年11月16日（日）～19日（水）※視察日は17日（月）～18日（火）の2日間

○視察先等：島根県雲南市役所、地域自主組織等5団体



波多コミュニティ協議会様（閉校校舎を利用した集落拠点）

視察先	主なポイント
雲南市役所	全体概要：合併を機に、地域の繋がりを強め、自主的に地域を治める新たな地縁モデルとして地域全体を包含する地域自主組織を導入し、定期的（3年ごとなど）に不都合や時勢に応じた見直しを進め、使いやすく長続きする仕組みで制度を運用中。
波多コミュニティ協議会	人口220人ほどの集落で、現状維持「延命」をテーマとして、閉校校舎を使った集落拠点で集落唯一の店舗「はたマーケット」を「商売」ではなく、地域の見守り・交流事業の一環で運営。お店だけではなく多くの集落機能を少人数でマルチに提供。防災訓練を楽しく実施する工夫が印象的。
掛合(かけや)自治振興会	地域の結束が強くニーズを的確にとらえた実践的な取り組み（夏休み塾、子ども食堂、多文化共生等）を実施。人口減少の中、次世代の担い手確保に繋がる楽しい体験イベントなど地域づくりに関わる工夫を数多く実践。自治会が組織にしっかり組み込まれている地域総働体制を確立。
中野の里づくり委員会	人口約410人の集落で、背伸びすることなく今やっていることを工夫し地域を元気にする活動を実践。地域の交流と生きがいづくりのため毎週開催する「笑んがわ市」は、問寒別地区の「といかん・みんなの市」にも役立つヒントあり。既存団体を組織の部会とするなど団体のスリム化が進む。
雲見の里いいし	人口約630人の集落で、集落にある既存団体等の見直しを積極的に進め、地域全体の負担軽減策を絶えず模索して改革している。閉校校舎の利活用方法を地域全体でしっかり検討・計画・実践しており、自主的な住民自治の基本的な姿に感銘。
株式会社吉田ふるさと村	人口約1,350人の集落で、人口減少による地域消滅の危機感から地域を守りたいという思いで会社が設立され、地域産業振興と雇用の場創出を目的に、地域食材などを活用した加工品製造販売等で83人の雇用創出。原材料を仕入れ加工販売というモデルは大いに参考となる。

視察研修を通して得られた地域づくりの取り組みや組織体制のヒントを参考に、小規模ながらも様々な機能をもった住民自治の仕組みである「小規模多機能自治」の取り組みを進めてまいりますので、共に住み続けられる地域づくりを目指していきましょう！

お問い合わせ先：住民生活課 地域対策係 電話：5-1112（152） 告知端末機：5-8812